

# ジェンダー平等について考えよう💡

ジェンダーとは… 「文化的・社会的に作られた性別」ともいわれ「男らしい」「女らしい」とされる行動や態度、「家事は女性がやるもの」といった役割分担意識など。

## ジェンダーギャップ指数

各国における男女格差の大きさを「経済」「教育」「健康」「政治」の4つの分野で示しています。ジェンダーギャップ指数の順位が低いということは、男女間の格差が大きい国ということです。

日本は **118位** / 146 か国  
(2023 年は 125 位)

2023 年と比べて順位は良くなりましたが、依然として日本の順位を下げているのは「政治」「経済」分野です。日本には国会議員やリーダーの立場にいる女性が少ないことも理由の一つです。

### ジェンダーギャップ指数 上位国👑

- 1 アイスランド 🇩🇰
- 2 フィンランド 🇫🇮
- 3 ノルウェー 🇳🇴
- 4 ニュージーランド 🇳🇿
- 5 スウェーデン 🇸🇪

日本は、先進国 (G7 ※) の中で最低レベル。

近隣のアジア諸国では、韓国 (94 位)、中国 (106 位)、フィリピン (25 位) より低い結果です。

※アメリカ合衆国、日本、ドイツ、イギリス、フランス、イタリア、カナダ

## ジェンダー平等を実現するために必要なこと

性別に関係なく一人ひとりが責任や権利、機会を平等に分ち合い、物事を一緒に決めていくことが重要です。

### 1. 日本や世界のジェンダー問題を知ること

自分事ではないとか、遠くの国の問題と思わずに身近な問題として意識することが大切。

### 2. 家事・育児を平等にする

こういった状態が「平等」なのか、家族できちんと話し合いそれぞれの「家」の形を作る。

私たち一人一人が  
できる取り組み

佐賀大学・武雄市  
連携公開講座

## 女性の声を地域に生かそう

～政治・意思決定分野における女性参画の必要性を考える～

女性は雇用や災害時により生活困窮に陥りやすいと言われています。社会の仕組みをつくる政治分野により多くの女性が進出し、多様性が反映される社会へと変えていく必要性があります。政治・意思決定分野における女性参画の必要性について考えてみませんか？

日時 8月29日(木) 13:30～15:00

場所 市役所1階ホール

申込方法 電話、FAX またはメールでお申込みください。  
申込締切…8月16日(金)

お問合せ 男女参画・市民協働課 ☎0954-23-9141 / FAX 0954-23-3816  
Mail danjyo@city.takeo.lg.jp

参加無料  
定員30名(先着順)  
託児あり



講師：吉岡 剛彦氏  
佐賀大学 教育学部教授  
専門分野：法哲学